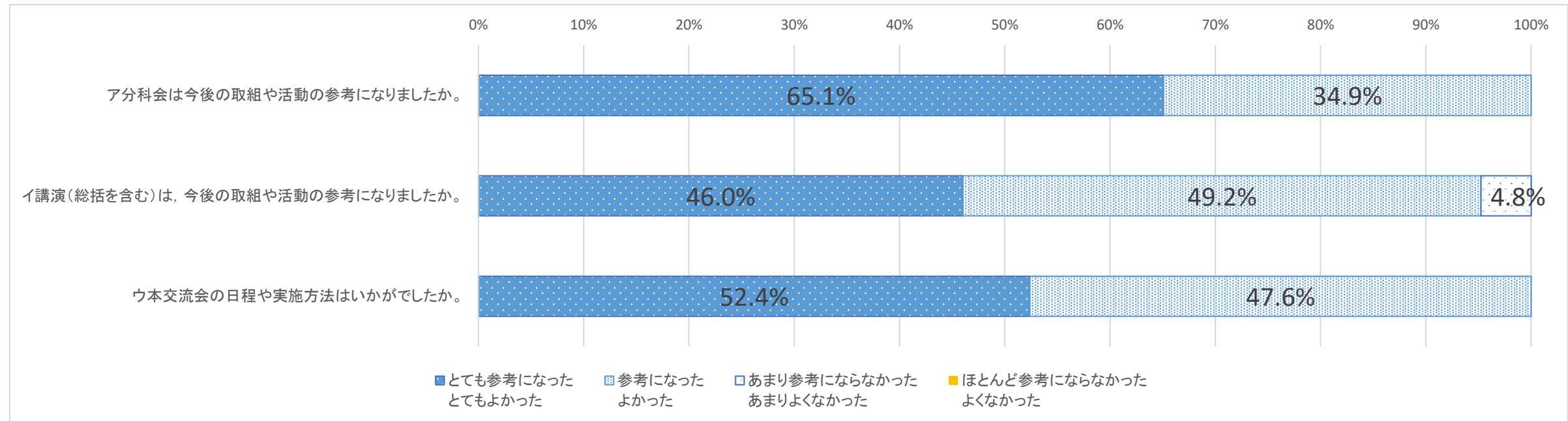


令和4年度実践交流会参加者振り返りアンケート集計

【集計結果】



分科会に関する記述

(第1分科会「共生」)

○多文化共生について、自館エリアの実態を把握できていないということを改めて感じました。

○認知症カフェの取組から実践に向けた過程・流れが今後、施設で設けたいと思っている事業の参考になりました。

(第2分科会「協治」)

○活動を継続させていくためにもビジョンの共有がとても大切であること。施設はよろず相談所、地域住民の小さな声をくみとっていくことの大切さを改めて感じました。

○比和地域の長年にわたり、取り組まれている大人と子供を教育的な活動でつなぐことが地域の風土となっていると感じました。

(第3分科会「対話の部屋」)

○防災と社会教育との連携の視点と、その打開策へのアプローチについて対話することができました。

○他市町の事例を知れたり、抱えている問題を共有できたりしてよかったです。

【振り返りアンケートの記述内容から】

講演・総括に関する記述

○記憶の倫理やデジタルマイノリティ問題という中で、記憶メディアの多様化にどう対応していかかが重要だと思いました。

○新たな視点で、社会教育とは何かを考えることができました。現在、図書館の担当もしているので、コミュニケーション的記憶と文化的記憶の両面から様々なことができるのではと、新たな可能性を感じました。